

# We Are Astra! 第3回実行委員会 会議録

日時: 令和8年(2026年)2月4日(水)

10:00~11:30

オンライン会議

## 1 開会

### <田中義務教育指導係長>

それでは改めまして、皆様おはようございます。

We Are Astra! 第3回実行委員会にご参加・ご出席いただきありがとうございます。本日の全体の進行を務めさせていただきます、学びの改革支援課 義務教育指導係長の田中でございます。よろしく願いいたします。本日は、実行委員の皆様に加え、信州大学の酒井英樹教授にもご参加いただいております。酒井先生、よろしく願いいたします。それでは、武田教育長よりご挨拶をいただきます。武田教育長、お願いいたします。

## 2 武田教育長挨拶

### <武田教育長>

皆さんおはようございます。今日はAstra!第3回実行委員会ということで、お忙しい中、オンラインでございますけれども、ご参加いただいていることに感謝をいたします。

この事業は、信州の未来の担い手を育成するというのが目的でございます。信州の未来には、現在、いろんな課題がございます。例えば、人口減少、少子化の問題、あるいは働き手が不足し、事業承継をしてくれる人材がなかなかいないところが多い。また、公共交通機関や医療を、特に山間地において、どう維持をしていくのか、などがございます。こういった課題を、今後解決していくためには、人を育てる、これ以外にないのではないかとこのように思います。

どういった人を育てていく必要があるのかということですが、私が考えるに、行動する人であるということだろうと思います。失敗を恐れず、可能性を信じて、具体的に行動する人を多く育てていくことが最も重要ではないかというように思います。

自らは行動しないのに、人の行動や人の考え方を批判したり、場合によっては誹謗したりするようなことではなく、また、誰かがやってくれるからではなく、自らが行動する、そういった人材を育てていくことではないかというように考えております。

そういった中で、私たちができることは何なのかと考えると、今日お集まりのような、それぞれの立場の大人が力を合わせて、子供たちがそういった力をつけていけるような環境を作っていくことではないかと考えます。

そして、最も大切な環境は、こういった様々な大人が、未来に向かって力を合わせて取り組んでいる姿を、子供たちに見せていくことではないかと、そのように思うところであります。

今日の実行委員会では、二つのことについて、皆様のお知恵を出していただけたらと思い

ます。まず1つ目は、小学校から中学校のメンバーの選抜方法でございます。どのような子供を、どのように選んでいくかということについて、ぜひ皆様方のお知恵を拝借できればというふうに思います。

2点目は、募金のことであります。教育委員会といたしましては、このAstra!の事業について、来年度については予算要求をしているところでございますけれども、今後、一般財源だけで、例えば子供たちを海外研修に行かせるといった費用を賄っていくことは、厳しさがございます。子供たちに豊かな体験をしてほしい、例えば海外研修をしてほしいということは、ぜひ実現したいことでありますけれども、その費用を、多くの方からの募金で集めていくことが良いのではないかと考えております。

今日ぜひ、皆様方の知恵やアイデアを出し合って、多くの募金を集め、子供たちに豊かな体験をしてもらうにはどうしたらよいかということを考えていただければと思っております。限られた時間ではございますけれども、皆様方と共に、長野県の未来を担う子供たち、人材を育てていくという共通の目標に立って、話を深めていけたらと思います。ぜひよろしくお願いいたします。

### <田中義務教育指導係長>

教育長、ありがとうございます。それでは画面共有をさせていただきます。本日、特にご議論いただきたい柱は2点、画面に表示している「2」と「4」に該当します。その前提として、まず共有しておきたい点について説明をさせていただきます。一色課長、お願いいたします。

## 3 “プログラム概要と修正点、選抜方法及び内容”の説明

### <一色課長>

皆様こんにちは。本日はお世話になります。よろしくお願いいたします。

それでは最初に、このAstra!というプログラムを、もう一度どんな願いで行っているかということ、再確認しておきたいなというふうに思っています。

先ほど教育長からもありましたとおり、この産・学・官が一緒になって、長野県の未来の担い手を育てたいという、同一歩調で一緒に作り上げていく取り組みであるということ、そして、子供たちに郷土を愛するという心を育てていくプラットフォームとなって、この思いを共有できる人とのつながりを県内に広く作っていく、Astra!はその一つの方法であると考えています。そして、このプログラムは、子供たちにできるだけ委ねながら進めていくということ、大事にしたいと考えています。教育長の方からも、「行動する力」という言葉がありまして、参加した子供たちが主体的にこのプログラムを進めていく、その余地を十分残しながら進めていきたいなと考えているところでございます。そして、つながり合いの中で、Astra!というこの事業を通った子供たちが、長野県の未来を照らす存在となって、その光が夜空に輝く星空のように、様々な人と人をつなぎ、長野県の明日を切り開く、そんな力を持った人に育ててほしい、これが一番の大きな願いでございます。

これに向けて、ぜひ今日、皆さん方にお知恵を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

ます。

それでは、第2回までに計画してきた内容の変更点について、画面を見ながら説明させていただきたいと思います。

まず2点目です。このプログラムには、継続的に関わる Astra!メンバーと、オープン参加の枠を組み合わせるハイブリッド型の方向で整理をしました。このオープン参加についてはですね、藤森さん、その都度募集という形で良かったでしたっけ。

### ＜藤森指導主事＞

はい。都度募集したいと考えております。

### ＜一色課長＞

はい、ありがとうございます。コアメンバー、Astra!メンバーもそうですけれども、それぞれのところで興味を持つ子が、できるだけ多くの子供たちが関われる、そんな仕組みにしてください。

そして、第2回までに見ていただいた中でいただいたご意見として、長野県のことを知った上で、海外の研修をした方が良いのではないかというご意見を頂戴しました。そこで、7月の県内企業訪問を、当初は8月以降にスケジュールしていましたが、それを前倒しして7月に計画したところが、変更点でございます。

そして次に、会の中で、目的をきちんと明確にした方が良いというご意見をいただいています。それぞれのプログラムの中で、「長野県をよりよくしていく」という視点を、常に大事に据えられるようにしていきたいということです。

2つ目ですが、体験の質を高めること、それから実践的な活動を組み込むという点でございます。ただ見学するだけで終始しないように、できるだけ自分で考え、発信する場、子供たちが行動を起こせる場を用意していきたいと考えています。

そして3つ目になりますが、安全性・費用・公平性の点でございます。費用負担を公平に扱っていくこと、それから選抜方法については本日ご意見をいただきますが、透明性の中で選抜ができること、このあたりは大事に考えています。安全性については、藤森さん、どのような点でしたか。

### ＜藤森指導主事＞

はい。本プログラムには、多くの子供たちが参加することが想定されます。ですので、先生方にも関わっていただきながら、全ての子供たちが安心して活動できるような体制を取っていきたくと思いますので、そのような点で、安全管理についても先生方に関わっていただきたいということで、期待をしています。

### ＜一色課長＞

はい。ありがとうございます。

前回の会の中でも、小学校5年生から中学2年生、そういった子供たちが行くので、安全

性だけは大事に考えよう、というご意見が多くの方からありました。参考にさせていただきました。

そして4つ目ですが、発信とそれから継続性ですね。ありとあらゆる方法を使って、発信に力を入れていこうと思っております。また、今日、実行委員の皆様が持っている、こうしたつながり等も、活用できるかどうか、そのあたりも、またご意見を頂戴できればなと思っています。以上が、これまで第2回までの振り返りです。

それでは本題に入ります。皆様にご意見を頂戴したいところの1つ目となりますが、参加児童生徒の選抜の基準です。選抜の基準ですが、今、画面にお示ししたとおり、たった1つの選抜基準として考えてみました。長野県への思い、願い、そして未来に向けた提案、この点でいきたいなというふうに思っています。

ではこの詳細について、藤森さん、説明をお願いします。

### ＜藤森指導主事＞

はい。では、その詳細ということで、選考の方に入っていきたいと思えます。長野県への思い、願い、未来に向けた提案の1つにしたのですが、その前に、本当は主体性だとか、協働的にできることなど、いろいろ考えたのですが、まだまだ子供たちは、小学4年生で、来年度は小学5年生になる子供たちですので、そういったところは、これからこのプログラムを通して身に付けていってほしいところなのかなと思ひまして、まずはシンプルにしてみました。

それで、その選抜方法として考えた内容としましては、志願理由、400字程度です。最も大事にしたいのが、「私が描く未来のふるさと」と「私のアクション」です。私が住む地域は、将来こんな地域になってほしい。そのためには、私はこんなことをしてみたい、ということ、動画や作文など、特に限定せず、参加希望者が選ぶ方法で表現してもらいたいなと考えています。

保護者の同意も必要かと思ひますし、これを提出いただく方法としては、Google フォームで行っていただくか、またはダウンロードして郵送いただくか、という形を考えています。これによって、できるだけ多くの、全ての「参加したい」という子供たちの応募に対応していきたいなと考えているところです。

それでですね、この方法で考えると、一次選考の評価の観点については、この2つです。1つ目は、ふるさと、自分が住む地域への思いや願い。2つ目は、私のアクション、やってみたいことの具体性です。担当として考えたのは、「とても伝わる」「伝わる」「伝わりづらい」といったような、例えば3・2・1で数字を付けていくような、そのようなイメージで考えてみました。以上です。

### ＜一色課長＞

はい、ありがとうございました。かなり、通常の選考とは違う、子供たちの願いを表現しやすいように、今考えて説明していただきました。

それでですね、この第一次選考ですけれども、スライドで説明しますね。まず、皆さん実

行委員の皆様には、どこかの学年、小学校4年、5年、6年、それから中学1年という形になりますけれども、どこかの学年をご担当いただきたいと思います。その上で、児童生徒から提出された書類を、私たちがドライブに保存し、共有させていただきますので、まず書類に目を通していただく。思いやアクションについて、先ほど藤森から説明があったとおり、三段階で評価をしていただき、そして次に、得点をもとに上位5名、順位を確定していただきたいというふうに考えています。多くの子供たちから募集があることを期待しておりますけれども、その募集の中から、各学年ですから、5名ずつ順位を確定したもので、第2次選考は上位15名程度が進むという形で考えております。そうすると、各学年から3～4名程度ということになるでしょうか。

この15名程度という人数ですけれども、藤森さん、これ、当初このAstra!のメンバーは15名程度というふうに考えていますけれども、最初から「15名」と決めてしまう形でのいいの、そのあたり、少し説明していただきたいと思いますが。

### <藤森指導主事>

はい。15名も、ちょうど最初から15名と決めるのではなくて、14名だったり、16名だったり、17名だったりということも、あるかもしれません。一次選考では、やはり子供たちの発達段階も考慮して、ある程度、子供たちを絞った形にしてから、二次選考では基本的に落とすというよりも、一緒にやっていく子供たちの思いを、より深く聞いていく、そういった想定で、ここでは「15名程度」として絞って考えています。

### <一色課長>

はい。ありがとうございます。その意図を持って、15名程度という形で、その15名程度が二次選考に進むという形になります。それでは、二次選考の方の説明をさせていただきたいと思います。二次選考は、先ほどの一次選考は書類でしたけれども、ここはオンライン面接を考えています。内容は、長野県に対する思いを、10分から15分を使って深掘りしていきたいなと考えています。これには、実行委員の皆様にも1名加わっていただき、一緒に子供の思いを受け止めたいなというふうに考えています。事前に統一した評価シートを使って評価をしていくという形です。面接時間は、15時から17時まで、この時間の中で行っていいかなと考えています。それで、この2次選考ですけれども、実行委員の皆さんの業務の都合等もあるかと思えます。3月23日月曜日から3月27日金曜日の、この日間の間で、もしご都合のつくところがありましたら、ぜひ面接に関わっていただきたいなというふうに思っています。このあたりも、今日この後のディスカッションの中でご意見をいただければと思っています。

日程調整については、今回終了後に、メールにて日程調整をさせていただきます。それでは、最初のディスカッションのところについて説明させていただきました。田中係長、お願いします。

### ＜田中義務教育指導係長＞

今、説明させていただいた、叩き台ですが、推進の日程については見ていただいたとおりで、このような推進日程を考えているところです。来週、いよいよ周知、応募を開始したいと考えています。

参加を考えている児童生徒の皆さんに対して、2月24日、26日にオンラインによる説明を行いたいと思います。3月上旬に第一次選考、下旬に第二次選考というような流れを考えているところでございます。

それでは、まずディスカッションに入る前に、ここまでのプログラム等について、ご質問がございましたら、挙手またはお声を上げていただければと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、本日の協議の一つ目、選抜基準・選抜方法等について、ぜひ忌憚のないご意見をいただければと思います。

それではこの後、ブレイクアウトルームを5つに分けさせていただきたいと思います。

自動でブレイクアウトルームに入りますので、しばらくお待ちください。

## 【ディスカッション1】※別紙

### ＜田中義務教育指導係長＞

皆様、お戻りいただきましたでしょうか。十分に時間を取れず、私のグループも、全員の方にご発言いただくことができず、大変失礼をしてしまったなというところでございます。時間は十分ではなかったんですが、まず協議の一つとして、各グループでどのようなご意見が出ていたかということ共有したいと思いますので、各グループの記録担当の皆さん、ご発表は可能でしょうか。少し共有させていただければと思いますが、グループ1から順番によろしいですか。では、グループ1、記録の眞島さん、お願いします。

### ＜眞島主任指導主事＞

グループ1ですが、時間が短いのでキーワードをお願いします。まず、小学生から中学生までということで、年齢の幅が広く、平準化しにくいという意見がありました。そういったところはあまり気にしなくても良いのではないかと、というご意見もありました。また、人が人と話ができるのか、アイデアが出るなど、そういった企画力を見ていけると良いのではないかと、という意見が出たところでございます。以上です。

### ＜大原指導主事＞

2グループでは、選考に関わって、実行委員の皆さんの関わりについて話題になりました。どこまで関わっていけるかというところで、可能な限り、可能な場合は、2次選考のところで協力できると良いのではないかと、という意見が出ました。以上です。

### ＜掛川指導主事＞

3グループでは、世界で活躍した人も、地元の良さを感じていけば戻ってくるというところ

ろが大事なのではないか、という話になりました。やはり長野県は、「体験」をしているということが大事ではないか、ということです。信州の伝統文化や伝統行事を体験している子供たちを、面接などで知っていききたいという意見や、地域のスポーツ、スキーやスケートなどに取り組んでいる子供たち、そういった体験、信州の良さを体験している子供たちを、作文や面接の中で選考していったらどうか、という意見が出ました。以上です。

#### <櫻田指導主事>

4グループです。まず、書類選考のところで、最近は生成AIが出てきているので、そういったもので文章を作られてしまうと、本当にその子の思いをくみ取れるのか、という話題が出ました。複数で評価することを大切にしていきながら、また、中学1年生の子については、今年だと来年もう一度挑戦することができないので、人数配分のところも、うまく工夫できたら良いのではないか、というお話が出ました。また、大学などでよく使われているGPA評価のように、合格・不合格のラインになるところの評価を、より丁寧に行いたい、という意見も出ております。以上です。

#### <藤森指導主事>

5グループでは、方法については良いというご意見を頂戴しました。日程については、少しタイトではないかというご意見を多くの皆様からいただきましたが、一方で、皆様こちらにいらっしゃるのので、できるかもしれない、というご意見も頂戴しています。また、選抜の視点については、海外に出て、世界的な視点から長野県を見つめるということもありますので、グローバルな視点も加えると良いのではないか、というご意見を頂戴しました。以上です。

#### <田中義務教育指導係長>

はい、ありがとうございます。どういった視点、観点で、子供たちの応募のところを見ていくかということで、信州、ふるさとでの今の体験のこと、それからグローバルな視点に関わってのこと、そういったところのご意見を、ぜひ事務局としても生かしてまいりたいと思います。

それから、複数での評価ということ、やはり大事にしたいという点も出していただいているところです。私のグループでも、選考、特に2次選考ですね、年度末ということで、非常にどのお立場の方もお忙しい時期であるということで、可能な範囲でのご協力を、というお話がありました。一方では、事務局のみならず、実行委員会としてこのAstra!の事業を進めていきたいということもございますので、ぜひ実行委員会全体で、この選考の方にも関わっていただければというふうに考えているところでございます。全体の方向としては、事務局提案の方向でお認めいただいているように捉えておりますが、いかがでしょうか。この全体場で、もしご意見がございましたら、お出しいただければと思いますが。

#### 4 運営スタッフの推薦について

##### <田中義務教育指導係長>

それでは、協議の二つ目に入る前に、運営スタッフの推薦について、事務局よりご連絡とお願いがございます。課長、お願いいたします。

##### <一色課長>

はい。先ほどの話に戻りますけれども、選考に関わって、なかなか子供に会って判断する機会が少ないので、少し心配だ、という声も、先ほど中村さんの方からいただきました。やはり、教師、私たち教育委員会の視点だけで、本当に子供の選考をするというのは、難しいなというふうに感じています。私たちの視点だけでは厳しいというふうに感じていますので、ぜひ、いろんな角度からの選考をお願いしたいと思っています。お力添えのほど、よろしくお願いいたします。すみません、先に一言、触れさせていただきました。

それではですね、また画面を見ていただいて、説明させていただきたいと思います。まず、来年度の予定ですが、今画面に映しているとおり、それぞれのプログラムと、それから実行委員会を並行しながら進めていく、1年間のプログラムになります。このうち、これから色が付く黄色のところ、いよいよそれぞれの行事、プログラムになるわけです。この時に、実行委員の皆様、所属から、運営スタッフを、ぜひ出していただきたいなというふうに考えています。

イメージはこんな形になります。まず、私たち一番上のところですね、Astra!実行委員会、大きな方向性を決定しております。実際に、それぞれの行事が動く時には、運営スタッフで動かしていく形になる、というふうに考えています。大きくは、6月のキックオフミーティング、それから7月の企業フォーラム、それから11月の「未来を探るフィールドスタディ」、そして最終報告会と、それぞれのところに、この運営スタッフを、数名ずつ出していただくことをお願いしたいなと思います。各団体から1名ずつで良いかと思いますが、こちらですね、選抜のお願いのメールと一緒に、参加していただける方の推薦を、フォーム、アンケートという形で取らせていただく予定でおります。以上、運営スタッフの説明になります。

#### 【ディスカッション2】※非公開

#### 5 質疑応答・閉会

##### <田中義務教育指導係長>

閉会の時間が近づいてきているわけですが、全体を通して、ご発言したいことがございましたら、いただければと思いますが、いかがでしょうか。

はい、中村様、お願いいたします。

##### <中村委員>

商工会連合会の中村ですけれども、質問なんです、先ほど、運営スタッフの推薦という

話がありましたよね。その中で、各団体から1名選出して、というお話だったと思うんですが、先ほどの来年度の予定の中で、いくつかやることがあるじゃないですか。それらすべてに関わるということなのか、それとも、1つを決めて、それに専念するという事なのか、そのあたりはどうなんでしょうか。

### <田中義務教育指導係長>

今、事務局として考えているところは、ご推薦いただいた運営スタッフの方には、プロジェクトごとに関わっていただきたいという構想でございます。よろしいでしょうか。

### <武田教育長>

だから、1つやってもらってことだよね。

### <藤森指導主事>

はい。団体から1人出していただいた方には、1つのイベントについて関わっていただく、という方向で考えております。

### <白鳥委員>

国際ロータリーの白鳥ですが、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

最初に、武田教育長から、これから日本の将来というか、それは教育しかない、自ら行動する人、という非常に強いメッセージをいただいたと思います。私も本当にそのとおりだと思っています。

それを実行する時に、武田教育長のその熱い思いが、先ほどのポスターや名刺にも表れていると思うんですが、「Astra!」という名前だけでなく、その強いメッセージ自体が、教育方針、今後の人づくりとして重要なものとして、もっと前面に出てくるとよいのではないかと思います。武田教育長から、あるいは知事からも、「こういうふうにしたいんだ」という強いメッセージがあることが、とても重要で、それが寄付などにも刺さるポイントになると思いますので、ぜひその点を強く出していただければありがたいと思います。以上です。

### <田中義務教育指導係長>

はい、白鳥様、ありがとうございました。その部分については、大事にしていきたいと思っています。配布を考えているカード等についても、内容を改めて検討してまいります。ありがとうございます。それでは、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、長時間にわたり、またお忙しい中、第3回の実行委員会にご参加いただきまして、大変ありがとうございました。信州大学の酒井先生におかれましては、ディスカッションにご参加いただき、ありがとうございました。本日、実行委員の皆様からいただいたご意見は、児童生徒の選抜および次年度の活動に生かしてまいりたいと思います。あわせて、第2次選考のオンライン面接につきましては、実行委員の皆様のご都合のよい時間帯でご協力いただけるよう、日程調整をお願いしたいと思います。

詳細につきましては、後日メールをお送りいたしますので、ご確認いただければと思います。ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

それでは以上をもちまして、本日の第3回 Astra! 実行委員会を閉会させていただきます。引き続き、何とぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。